

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
昭和60年6月18日 第11報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Phormidium tenue</i> *	160		
(黄鞭) <i>Mallomonas tonsurata</i>	20		
(黄鞭) <i>Mallomonas</i> sp.	20		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	160		
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	200		
(珪) <i>Melosira italica</i>	240	○	
(珪) <i>Cyclotella</i> sp.	20		
(珪) <i>Nitzschia holsatica</i>	160		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	80		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	20		
(渦) <i>Ceratium hirundinella</i>	20		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	180		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	40		
(緑) <i>Scenedesmus</i> sp.	80		
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subprorum</i>	280	◎	◎
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	40		○
(他) その他の植物プランクトン	40		
(藍) 藍藻綱	160	9.1	0.7
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	40	2.3	0.7
(珪) 珪藻綱	880	50.0	11.2
(渦) 渦鞭毛藻綱	20	1.1	10.9
(褐) 褐色鞭毛藻綱	180	10.2	5.6
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	440	25.0	70.9
(他) その他のプランクトン	40	2.3	0.0
総 細 胞 数	1760	総体積	5.49E+06
種 類 数	17	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第 1 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
緑藻綱	<i>Closterium aciculare</i> var. <i>subprorum</i>	280

第 2 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
珪藻綱	<i>Melosira italica</i>	240

植物プランクトン第1優占種



***Closterium aciculare*
var. *subprorum***
(ミカヅキモ)

緑藻綱
夏季に非常に多く増殖する。琵琶湖で最も多く見られるプランクトンの1つである。

植物プランクトン第2優占種



Melosira italica
(メロシラ イタリカ)

珪藻綱
円筒形の細胞が連鎖群体を形成する。両端に長い剛毛を有しない。被殻はそれほど厚くない。